



学校教育目標

「共に伸びる瑞穂っ子」

みんな仲良し

すんで運動

ほんきで学習

発行責任者 校長 鶴田和寿

～スーパーわくわく大作戦!～

心を一つに、力を合わせて縄跳び大会!



令和6年度の瑞穂小学校も残すところ23日となりました。6年生は20日で卒業です。「スーパーわくわく大作戦!」もいよいよよまよめの時期です。さらに学校生活を充実させていきます。

さて、1月31日(金)に「縄跳び大会」が行われました。数多くある行事の中で「学級のみんなが心を一つにする」ことを学ぶ有意義な行事の一つです。今年もとてもよい行事になりました。短縄では、自分の目標をしっかりともち、当日を迎えるまで休み時間や体育の時間で一生懸命に練習する姿が見られました。長縄では、休み時間やすき間の時間を見つけて、クラスの友達に声を掛け合いながら練習をする姿がたくさん見られました。当日は、1月の始めは1回も跳べなかった1年生が100回に迫る新記録を出し、最高学年の6年生はさすがの記録276回と、下級生の良い手本になりました。この記録は、たまたま出た記録ではなく、これまでの日々の努力の積み重ねの成果です。練習時、上手く跳べずに友達とトラブルになったり、練習をしても記録が伸びず、諦めそうになったり、上級生と下級生と一緒に跳ぶことでコツをつかんだり、単なる記録更新以上に学ぶことが多かった大会になりました。「心を一つに」そして「目標達成に向けて仲間と努力する」ことをこれからも大切にして欲しいです。

<1回目の記録と大会当日の記録>

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1月10日	22回	51回	84回	105回	190回	160回
1月31日	97回	95回	172回	209回	191回	276回



★様子はHP「みずほ～む」の「みずほっ子日記1/31」をご覧ください。



☆皆さんの声を聞かせてください。

「子どもたちへのメッセージ」「学校へのメッセージ」など、なんでもかまいません。これまでより強く、保護者の方々、地域の方々と力を合わせて子どもたちの成長のために指導にあたりたいと思います。お気付きの点、お子様の様子等を記入していただき、切り取り線から切り取り、担任までお願いします。ぜひ皆様の温かいお言葉をお待ちしています。(表面下部) ※匿名でもかまいません。

.....切り取り線.....

<子どもたち・学校へ>

年 組

みんなで取り組もう… (取組状況調査結果) 8オフ&リリース大作戦!

12月から全校で取り組んでいる「8オフ&リリース大作戦!」保護者の皆様方の御理解、御協力、本当にありがとうございます。約1カ月が経ち、取組進捗状況の調査を行いました。回答の御協力ありがとうございました。以下に結果と御意見の一部をまとめました。

「8オフ&リリース大作戦!」取組進捗状況調査 回答86名(全児童99名のうち86%回答)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
ほとんどできた	67%	47%	53%	53%	53%	13%	47%
おおむねできた	22%	27%	24%	40%	27%	27%	28%
おおむねできなかった	11%	27%	18%	0%	13%	40%	19%
できなかった	0%	0%	6%	7%	7%	20%	7%

<主な感想や意見> ※紙面の関係で同様の内容はまとめました。(○肯定意見 ▲課題)

- 学校で決まったきまりを守ろうと努力していた。声掛けもしやすくなりました。
- まだ依存性はなく、親の言うことを聞く。
- 21時にタイマーをかけることで効果があったので、20時に移行していく。
- ゲームは1時間でオフになるように、また、20時以降は使えないように設定している。
- 「8時までだね?」と私も子どもも意識して毎回守ることができた。
- 時間が過ぎる場合は、必ず報告、相談できた。
- 家庭でのきまりより、学校で決まったきまりの方が意識して守ろうと努力するようになった。
- 子どもたちのことを考え、いつも様々な取組をしてくださりありがとうございます。
- 学校や学級できまりや取組ができるまでは、ずっと見ている傾向にありました。終わりにしなという、いやいや見るのをやめる感じで動画の視聴により、寝る時間が遅くなり、朝起きるのも起きることができなくなるので、自分から動画の視聴を終わりにできるようになるまで日々声掛けをしていきます。
- 少しずつ、目指しているものに近付けるよう、家庭で、これからも協力させていただきます。
- ▲強制的に電源が落ちるやり方を知りたいです。
- ▲1回の利用時間も決めてほしい。
- ▲言わないと返さない→言うたびにすくれる→こちらもイライラする→言うのに疲れる
- ▲積極的に声掛けすることができなかった。少しルールが緩くなってしまったので気を付けたい。
- ▲週末、冬休み中は取り組むのが難しかった。
- ▲初日からルールを守りませんでした。
- ▲下校してから母が帰宅するまでの使用状況が不明。
- ▲「8オフ&リリース」の先に、先生方が求めるものは何でしょうか?どんなビジョンなのでしょう?自制をさせることと同時に、それまでゲーム等に費やしていた時間をどう使うのかを考えるべきではないでしょうか?また、ゲームやタブレット、スマホ以上に楽しい世界があれば…それを家庭でも提供、共有できれば自ずと使用しなくなるのではないのでしょうか?それが難しいのが現実ではないのでしょうか。勉強をする必要性が見いだせていたら自ら勉強するようになると思う理想論からすれば、自制して、負荷をかけて、縛り付けてこっちを向けと言われても向くはずはないと思います。そもそも子どもを規制して、隣で親がスマホばかり見ていたら、子どももそうなると思います。変わらなければならないのは、規制しなければならないのは保護者側かもしれません。デジタルデトックスを親子で取り組んだらいいと思います。
- ▲「子どもたちの自制心を高める」とおたよりにありますが、大人が自制心を身に付けるのが難しいです。子どもの前で、つい、スマホを手にとってしまう。大人が、時間と心に余裕がある無いによって、取組にムラが出るのがもどかしいですね。また、時々学校からお借りしてくるタブレットも、宿題の学習はしますが、その後ダラダラ長い時間、いろいろなアプリを始めたりすぐやめたりで、十分学習として活用するのが難しいと感じています。(必ずしもタブレットを使わないとできない学習をできているとは言えない)低学年の場合は、タブレット宿題の内容は具体的に「このアプリのこの単元」と決めていただけたほうが、こと「8オフ&リリース大作戦!」の趣旨との一貫性が出て感じています。

貴重な御意見をありがとうございました。「子どもがきまりを守ろうと努力をしていた」や「学校全体できまりに取り組むことで、声をかけやすくなった」の意見は、この取組の成果でありとても嬉しく思います。基本的にはお家に帰ってからのことなので、保護者の方の考え方に任せるところですが、子どもたちのこれからのことを考えて学校と保護者の皆様方で協力していければと考えています。「自制心が必要なのは保護者側」の意見に共感しました。また「声をかけたが守れなかった」等の感想がありました。ここは頑張りどころですね。子どもたちは、いつまでも使いたいですから。きまりを作っても、きまりを守らなければ意味はありません。そこを見過すと「きまりは守らなくてもよいもの」と誤学習をしてしまいます。全ては「子どもたちの幸せな人生のために」です。我々大人も頑張っていきましょう!(3月上旬に再調査をする予定です)

☆「ちょっと一言コーナー」から ※No.9号からメッセージはありませんでした。

感想や御意見、また何か気になること等ありましたら表下部のメモに記載していただき、担任までお願いいたします。

☆学校だより「きささげ」はHPにも掲載しています。「みずほ〜む」→「わくわく校長室」